

第13回冬期合宿講習会報告書



実行委員長 須藤朝代
司会 井上保恵

2021年1月10日11日に、京都嵯峨嵐山にあります「ホテルビナリオ」で、1泊4食付の合宿講習会を無事終了できました。それもこれも会場になるホテル側のしっかりした安全対策、運営スタッフの皆様方のご協力、又、ご参加くださいました先生方一人ひとりが、ご自身の体調にご留意くださいましたおかげだと感じいております。

講師は元、交流会理事長の真鍋立夫先生です。そして司会は学術部理事の井上保恵先生にお願い致しました。

二度目の緊急事態宣言が発令され、医療現場が逼迫した状況の中で、発熱しても医療機関にかかることもできず、自宅で待機している患者様も多くなっております。また医師も、心身ともに疲弊し危機的な状況になっている様子です。それらの社会的な現象を鑑み、薬系漢方家が「未病を治す」ことにより患者数を減らし、また金匱要略の「痰飲欬嗽の病」に記載されているように、胸上の水を省くことにより、治療効果を上げ、この社会情勢の緩和に役立つことができると考えております。可及的速さ、重大な必要性を感じ冬季合宿講習会を開催いたしました。

我々は不安に押しつぶされそうになっている国民を救うことができる医療者です。

漢方薬局の来局者の大方は、未病であり、難病、慢性病の両極端の方々です。漢方薬が保険適用されている間は、この図式は大方変わらないと思います。

医療者個人の力量に差がありますが、未病を治す事は、漢方を学習している限り、簡単に地域社会の住民にご指導申し上げられます。今回の冬季合宿講習会では、参加者に日本の風土に根付いた養生法を、かなり詳しくご教授させていただきました。講師の真鍋立夫先生もご経験の中で蓄えた知識を、惜しげもなくすべてお教え下さいました。参加して下さった方々に、地元にお帰りになり、仲間と知識を共有し、地域住民のために学んだものをお伝えくださいと力説いたし

ました。今回の合宿講習会は、多くの意義を含んだ会であることも認識していただきました。

真鍋立夫先生が、初学者、慢性難病フォーラム、合宿講習会等のセクションを立ち上げましたのは、会員数を増強するための政策でした。この時代やむなくリモートでの開催を余儀なくされておりますが、それでは新会員の獲得は難しいのではと感じます。

さらにその前の初代の鉄村豪先生は、各都道府県に研究会を立ち上げる大きな希望を持っていらっしゃいました。

引いて何もしないのが安全で、簡単な方法かもしれませんが、長い目で見ますとそれが悪い状況を作るきっかけになることもございます。国民と同じような意識で、この社会状況を怖がっている、とても患者様をお救いする事は難しい集団となります。そして新しい会員獲得はさらに難しくなってくると推察いたします。

我々の強い指導者がいらっしゃらなくなりました。文珠の知恵で難局を乗り越えてまいりましょう。

日本漢方交流会 学術部主催
第13回 冬期合宿講習会

テーマ：『漢方医薬学の実践』

日時：令和3年 1月 10、11日（日、月 連休） 1泊2日

場所：“ホテルビナリオ嵯峨嵐山”（旧コミュニティ嵯峨野）
京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4 TEL (075)871-9711
最寄り駅：JR山陰線『嵯峨嵐山駅』

費用：交流会会員 1万8千円（1泊4食付）
一般 2万1千円（1泊4食付）

定員：65名（残席24 10月20日現在）

講師：元日本漢方交流会理事長 真鍋 立夫 先生

* 漢方薬生薬認定薬剤師制度（必須研修 6単位 予定）

COVID-19の拡大のために、社会生活が抑圧され、各催事が中止、または延期の方向になっております。そのような中で宿泊、食事を兼ねた合宿講習会を開催する事に、理事の大方は難色を示しておりました。ですが、我々は未病を治す事のできる薬系漢方家です。国民の指導的な立場であるべき我々が、一般の方のように恐れている場合ではありません。今こそ、漢方医薬学の正当な「証」を取ることで、この混乱した社会にお役に立てるはずで、実行委員長の立場ではクラスターを出すことなく、無事終了させるように準備を周到にし、開催させていただくことに相成りました。

この合宿講習会の特徴は、漢方医薬学の本筋を感じ取り、経験豊かで、患者様方に評価されている薬系漢方家に講師をお願い致しております。よく例えられるのが登山です。頂上を目指すには1つのルートだけではなく、いくつかのルートがあります。それと同様に、治療効果を得るのに画一的な1つの方法だけではなく、患者様の病態の捉え方、治療の手順などは、漢方家により様々です。時間差はあっても各々登頂は達成できます。それを踏まえて、講師の治療の方程式にあたる「陰、陽」、「虚、実」、病態の捉え方をご講議いただき、そして実際の「証」の取り方を学習します。又、我々薬系漢方家は改善された肉体、精神を数字で表現することはできません。それ故に最終日には、その講師の手法で良くなられた患者様方にご登壇いただき、エビデンスとさせていただいております。

今回の講師は、元漢方交流会理事長の真鍋立夫先生です。漢方に対する熱き情熱を今も持ち続け、現在も現役で社会に貢献していらっしゃる先生です。この合宿講習会からクラスターを出すことなく、お1人お1人の先生方が、ご自身の体調にご留意くださり、ご参加下さいます様お願い申し上げます。

プログラム

1日目

10:00～

受付開始

10:30～10:40

日本漢方交流会会長 挨拶

10:40～12:00

『漢方医薬学の歴史』

12:00～13:00

昼 食

13:00～15:00

『漢方医薬学の基礎』

15:00～15:30

休 憩

15:30～17:00

『相談カードの取り方と証の基礎と活かし方』

18:00～

夕 食

20:00～22:00

希望者補習

- ① 「未病を治す」薬系漢方家の役目
講師 須藤朝代
 - ② 脈証の実習
 - ③ 「漢方医薬学」全体の質疑応答
-

2日目

9:30～12:00

『治療の実際』

12:00～13:00

昼食

13:00～15:45

『症例検討』

- ① 甲状腺腫治療の予後不良
冷えのぼせ
 - ② 癌治療後の体調不良
-

実行委員長 須藤 朝代

司会 井上 保恵